



陸上競技ではりきっています！（カンボジア孤児院）

特定非営利活動法人 礎の石孤児院理事長

北野 直人

皆様の御支援、御協力、いつもありがとうございます。

3月1日に、ジョーンズ・ホプキンス大学CCPフォーラム様から私たち孤児院の働き
の為に、御寄附を賜りました。同フォーラム様は、昨年も私たち孤児院の働き
の為に御寄附を下さった方々で、今回は、東京の原宿でその授与式が行われ
ました。式の中で、ある理事の方から日本の児童養護施設設立の為に、突然の
御寄附を賜る心温まるハプニングもあり、本当にありがたく思いました。

私たちの働きは、決して1人でできるものではありません。皆さまのような、
理解し、支えて下さる方あっての働きであります。このような式に招かれる度に、
いつもそのことを強く認識させられます。子供たちも、顔は見ることができなく
ても、自分たちが皆さまに支えられていることをよく知っております。ですから、
どうぞこれからも、子供たちの為に、御支援・サポートを、是非よろしく願い
致します。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ！（こんにちは！）『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。

今年の気候は、例年に比べて驚くほど肌寒い日が続き、3月に入ってから朝方など涼しい日がありました。このような気候の変化の中で、数人の子ども達が風邪を引いたり体調を崩しただけで、こちらの心配をよそに多くの子ども達が元気に過ごせて感謝しています。子ども達が通っているMスクールでは、ここ1～2年



ですが体育にも力を入れて、学校対抗の競技などに孤児院の子ども達も選ばれて出場する機会が増えてきています。陸上競技では、優勝したり入賞する子ども達もいて、共に喜んでます。3月には、支援者の皆様よりたくさんの衣類を日本から送って頂きました。成長著しい子ども達全員の衣服の交換をしなければならない時でしたので、大変助かりました。皆様の変わらないご支援の数々を、心から感謝致します。

皆でドーナツを作っています！

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

いつも礎の石フィリピン孤児院の子どもたちへのご支援、ご協力を心から感謝致します。2013年～2014年の学年も、修了いたします。子どもたちはそれぞれ、人生の次のステップに進みます。その中で、教科プログラムに参加する子どもや、音楽レッスンコースに参加する子ども、リーダーシップを育成するコースに参加する子ども、また、畑仕事を手伝う子どももいます。

今年度、サラ・ジェインが高校を卒業します。サラ・ジェインは生後9か月と2週間で私たちのところへ来た子です。あれから15年と3か月が経ちました。振り



返ると、サラをはじめ、子どもたちは皆様のご支援を通して、ここまで成長できたのだということを改めて思われ、感謝でいっぱいになります。さらにサラ・ジェインは、大学に進んで勉強を続けたいという希望を持っています。

どうぞ引き続きご支援をよろしくお願い致します。皆様のご家族、お仕事がさらに祝福されますように。

スモーキーマウンテンの子どもたち！

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリ ボワンジ（こんにちは）皆様のご支援に、ザンビア孤児院一同、心から感謝を申し上げます。2月下旬に無事男児を出産致しました。これでホッとすると同時に、高度に整備された病院で、知識豊富な助産婦さん達に囲まれて安心して出産できる喜びを味わうと、ザンビアの妊婦さん達の置かれている過酷な状況に思いを馳せずにはられません。ザンビアは、妊婦の死亡率が、世界でワースト1位とも言われているのです。出産のために母を失い、孤児となる子が、何と多いことか。孤児をこれ以上増やさないためには、こういった状況の改善も必要になってくると思います。さて、孤児院の子どもたちは、皆様からのご支援により、無事進級、進学することができました。本当にありがとうございます。それぞれが、中学生、高校生と、大きく成長しており、今後の活躍が楽しみになっています。



新しい制服を着た
スティーブンとデヴィッド！

ブラジル孤児院レポート

松本 弘子

皆様のご支援とご協力をありがとうございます。

2月19日から3月10日まで日本に一時帰国させていただきました。最高気温37度の真夏のブラジルから大雪の日本に来ましたが、いつもは体験しないことをたくさん体験することが出来ました、この機会を与えてくださった皆様に心より感謝しています。雪で一面真っ白な長野県白馬で行われたキャンプにも参加することが出来、多くの方々の前でブラジルでの活動についてもお話しさせていただく時間があり、とても感動しました。今回は私の家族もブラジルでの活動に協力的になっていたことで、多くの助けを受けることが出来、とても感謝しています。さらに多くの方々の協力を得るため、活動を続けたいと思っています。



日本滞在中の松本スタッフ！

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を！

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。

また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。

私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

【郵便振替】

(口座番号) 00130-5-24249

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2069305

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

児童養護施設（孤児院）設立支援のため

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2915961

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

【郵便振替口座】

(口座番号) 00120-5-417839

(加入者名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

「礎の石」パートナー募集中

私たち NPO 法人「礎の石」孤児院では、毎月10千円をもって孤児たちを支えてくださる「礎の石」パートナーを募集しております。

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所、Eメールアドレスまでお送りください。

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局

〒141-0031

東京都品川区西五反田1-14-1 クレイズヒル岩崎201

電話：03-5740-8814 FAX：03-5740-8817

E-mail：ishizue@athena.ocn.ne.jp

<http://www.cornerstone.or.jp/>